

第5章 計画の進捗管理

1 重点目標の設定

本計画では、数値目標を設定し、毎年度その達成状況を把握・点検・評価し、その結果を次年度以降の事業に活かしていきます。

なお、他計画に基づいて設定している数値目標については、当該計画の数値目標が更新された場合、本計画に掲げる数値目標もあわせて更新します。

基本方針Ⅰ 性別を超えて、お互いを尊重し合えるまちづくり

NO.	指標項目	現状値	目標値
		令和6年度	令和17年度
1	社会全体で男女が平等になっていると感じる市民の割合（第3次京丹後市男女共同参画計画／市民意識調査結果）※1 【市民課】	26.0%	50.0%※2
2	人権学習会への参加者数（第3次京丹後市総合計画） 【市民課】	1,282人	2,000人
3	自他を尊重する対等な関係づくりへの理解度（デートDV防止啓発講座参加者アンケート）※3 【市民課】	67.0%	100%

※1 男女平等の現状（単数回答）における「平等」の平均値

※2 第5次男女共同参画基本計画における目標値（2025年度）を参考とします。

※3 全参加者（学生）のうち「講演を聴く前後で考えに変化があった」と回答した人の割合

基本方針Ⅱ 女性の活躍で切り開く、にぎわいと活気のあるまちづくり

NO.	指標項目	現状値	目標値
		令和6年度	令和17年度
4	管理職（課長補佐級以上）への女性登用率（市職員）（第2次京丹後市特定事業主行動計画）※1 【人事課】	32.3%	35.0%
5	男性職員の育児休業取得率（市職員）（第2次京丹後市特定事業主行動計画）※2 【人事課】	25.0%	85.0%※3
6	男女バランス（男女比率40%以上、60%以内）が偏っている審議会等の割合※4 【市民課】	14.3%	0%
7	審議会等における女性委員比率（第3次京丹後市総合計画） 【市民課】	42.6%	40.0%※5
8	女性の採用が増えた事業所の割合（第3次男女共同参画計画／事業所アンケート結果）※6 【市民課】	31.0% （令和5年度）	40.0%※7
9	事業所における男性の育休取得率（第3次男女共同参画計画／事業所アンケート結果）※8 【市民課】	59.1% （令和5年度）	85.0%※9

10	就業者における家事従事時間の男女格差（女性過多）（第3次男女共同参画計画／市民意識調査結果）※10 【市民課】	1時間 54分 （平日）	1時間※11
11	移住世帯数（第3次京丹後市総合計画） 【政策企画課】	57世帯	65世帯
12	避難所運営に関する男女共同参画の視点の達成率（地方公共団体における男女共同参画の視点からの防災・復興に係る取組状況調査を参考）※12 【総務防災課】	37.0%	60.0%※13

- ※1 全管理職人数（課長補佐級以上）のうち、女性の割合
- ※2 新たに育児休業取得可能となった男性職員のうち、育児休業取得した人の割合
- ※3 厚生労働省「こども未来戦略方針」における目標値（2030年、2週間以上の取得率）
- ※4 第6次男女共同参画基本計画における目標値（2030年度）
- ※5 第3次京丹後市総合計画における目標値（2028年度）
- ※6 令和元年度と比べた女性の雇用管理の変化（複数回答）における全回答数のうち「女性の採用が増えた」の回答割合
- ※7 過去調査の伸び率から算出
- ※8 配偶者が出産した男性従業員のうち、育休を取得した人数の割合
- ※9 厚生労働省「こども未来戦略方針」における目標値（2030年）
- ※10 就業者している人のうち、平日の家事にかかる時間の男女差
- ※11 第2次京丹後市男女共同参画計画における目標値を引き続き目標値とします。
- ※12 男女共同参画視点の項目（その他除く）のうち、達成できている項目の割合
- ※13 令和6年度調査における上位5市（京都市除く）の達成率の平均から算出

基本方針Ⅲ 健康と安心をわかちあう誰一人置き去りにしない共生のまちづくり

NO.	指 標 項 目	現状値	目標値
		令和6年度	令和17年度
13	乳がん検診の受診率（第3次京丹後市健康増進計画／総合検診結果）※1 【健康推進課】	49.1%	50.0%
14	子宮頸がん検診の受診率（第3次京丹後市健康増進計画／総合検診結果）※2 【健康推進課】	43.6%	50.0%
15	ストレスがあった人の中で相談していない人の割合（第3次京丹後市健康増進計画／健康増進計画アンケート調査結果）※3 【健康推進課】	18.0% （令和2年度）	現状値以下
16	何らかの地域活動を実施している人の増加（第3次京丹後市健康増進計画／健康増進計画アンケート調査結果）※4 【健康推進課】	男性 36.8% 女性 24.7% （令和2年度）	男性 80.0% 女性 80.0%
17	介護離職しなかった人の割合（第9期京丹後市高齢者保健福祉計画／在宅介護実態調査結果）※5 【長寿福祉課】	62.3% （令和4年度）	現状値以上

18	「京丹後市が住みやすい」と感じている外国人市民の割合 (第3次京丹後市多文化共生推進プラン／外国人市民アンケート調査結果) ※6 【政策企画課】	46.0% (令和4年度)	60.0%
----	--	------------------	-------

- ※1 40歳以上の女性のうち乳がん検診を受診した人の割合(隔年)
- ※2 20歳以上の女性のうち子宮頸がん検診を受診した人の割合(隔年)
- ※3 ストレスがあった人の中で相談していない人の割合
- ※4 「自治会、ボランティア、老人会、地区サークル活動などに参加されていますか。」という質問に対し、「はい」と回答した人の割合(60歳以上)
- ※5 「ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか」という質問に対し、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答した人の割合
- ※6 「京丹後市の住みやすさ」という質問に対し、行政手続き、仕事の環境など9項目を5段階(悪い1→良い5)で評価した人のうち、4～5と回答した人の割合

基本方針Ⅳ 思いやりで築く安心安全なまちづくり

NO.	指標項目	現状値	目標値
		令和6年度	令和17年度
19	配偶者等のDVに関する知識の普及率(第2次京丹後市男女共同参画計画／市民意識調査結果) ※1 【市民課】	69.2%	100.0%
20	DVを経験した市民のうち、どこに相談したらよいかわからなかった市民の割合(第2次京丹後市男女共同参画計画／市民意識調査結果) ※2 【市民課】	7.4%	0%

- ※1 「配偶者等からのDVについて、経験したり、見聞きしたことがありますか」という質問に対し、「知識として知っている」と回答した人の割合
- ※2 DV及びデートDVについて「自分が暴力を受けたことがある、自分が暴力をふるったことがある、身近に経験した人がいる」と回答した人のうち、「どこに相談したらよいかわからず、誰にも相談しなかった」と回答した人の割合

2 推進体制の強化と施策の計画的な推進

男女共同参画に関する施策は多岐にわたっており、様々な部署において推進されていくこととなります。そのためには、施策の担い手である市職員の一人ひとりが男女共同参画に関する理解と共通認識を持ち、日頃から男女共同参画の視点を持って業務にあたっていくことが大切です。

男女共同参画の推進に全市的に取り組むため、部局を横断する推進本部として、「京丹後市男女共同参画推進会議及び幹事会」の充実に努め、年に1回進捗管理を行います。また、市民・地域・事業者等の取組を支援する推進体制の確立と強化に努めます。

各施策については各部局との調整を十分に行いながら、本計画に基づいて計画的かつ効果的に推進します。また、「京丹後市男女共同参画条例」に基づき、男女共同参画に関する取組を総合的かつ計画的に推進します。

